

科 目 名

臨床検査化学 Laboratory Tests

2年 前・後期 3単位
(前期 2単位 後期 1単位) 必修

藤井 績 (薬物治療学研究室)
森内 宏志 (臨床薬学研究室)

概 要

【藤井】

ホメオスタシスの破綻という観点から代表的な症候について考察し、それぞれの病態生理を理解するための臨床検査について学ぶ。また、臨床検査値の特性について知り、必要最小限の臨床検査を効率よく利用することで理論的根拠が得られ、診断を正しくおこなうことができることを臨床症例を通して学ぶ。

1年次に履修した機能形態学〈C8(1)〉、細胞生物学〈C8(2)〉、解剖学概論〈C8(3)〉、生化学〈C9(1)〉の知識を総動員すること。本科目の知識を3年次開講の薬物治療学〈C14(2)〉、4年次開講の臨床薬理学〈C14(3)〉、医薬品安全性学〈C14(4)〉、微生物〈C14(5)〉での疾病理解に活用することを目標とする。

【森内】

臨床検査パラメーターの基礎が理解できたら、症例について考えてみることにより応用力および実戦力が養われる。個々の症例について与えられ情報を解析して、基本的な患者さんの病態や重症度の把握、および薬の副作用の早期発見などができるようになる為の基礎的考え方を修得する。

授業計画・到達目標

【藤井：前期 2単位相当】〈C14(1)-1-1)〉、C14(1)-2-1)~11)〉

- 1) 臨床診療の概略とそのながれ。症候とは？
- 2) 意識障害、けいれん、ショックを検査する。(バイタルサイン、トリアージ)
- 3) 全身倦怠感を検査する。(動脈血ガス分析)
- 4) 発熱、頭痛を検査する。(感染時および炎症時に行なう検査)
- 5) 動悸、胸痛を検査する。(心臓機能検査)
- 6) 痰・咳、呼吸困難を検査する。(呼吸機能検査)
- 7) 悪心・嘔吐、嚥下障害を検査する。(悪性腫瘍に関する検査)
- 8) 腹痛、腹部膨満を検査する。(内分泌・代謝検査)
- 9) 便秘、下痢を検査する。(消化管検査、糞便検査)
- 10) 吐血・下血、黄疸を検査する。(肝機能検査)
- 11) 貧血、出血傾向を検査する。(血液および血液凝固検査)
- 12) 浮腫、脱水、口渇、頻尿を検査する。(腎機能検査、尿検査)
- 13) めまい、しびれ、運動麻痺を検査する。(神経機能検査)
- 14) リンパ節腫脹、関節痛、腰痛を検査する。(免疫血清検査、骨検査)

【森内：後期 1単位相当】

- 1) C15(2)-2-2) 薬歴、診療録、看護記録などから患者基本情報を収集できる。
- 2) C15(2)-2-4) 得られた患者情報から医薬品の効果および副作用などを評価し、対処法を提案する。
- 3) C15(3)-4-1) 腎臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。
- 4) C15(3)-4-2) 肝臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。
- 5) C15(3)-4-3) 心臓疾患を伴った患者における薬物治療で注意すべき点を説明できる。

授業方法

【藤井】教科書を輪読するとともに視聴覚機材を用いた解説を行なう。

講義に使用したスライドは講義終了後、速やかに E-learning に up する。

【森内】循環器、消化器、呼吸器疾患等の症例提示による問題解析および解説により授業を進めていく。

評価方法

【藤井】中間テスト、定期試験、出席 (2/3以上必須) を総合して評価する。

【森内】原則定期テストで行い、授業態度 (無遅刻無欠席など) を考慮することもある。

教 材

【藤井】教科書：「目でみる症状のメカニズムと看護」(学研) ISBN:4-05-152295-4

参考書：「異常値の出るメカニズム 第4版」(医学書院) ISBN:4-260-11974-5

【森内】教科書：「Basic skills in interpreting laboratory test data」監修者 Mary Lee, American Society of Health-System Pharmacists, ISBN:1-58528-059-3